



介護の魅力と価値を高めるのはあなたです

# 介護福祉経営士 ニュース KFK News

2019  
**4.30**  
No.58

## CONTENTS

### 介護福祉経営士

#### 活動レポート Vol.28

地域の介護を支える  
基盤の強化に向けて

—東京都豊島区 中小介護事業者で  
つくる「事業協同組合」—

2

#### ●第4回

全国介護福祉総合

フェスティバル in さいたま  
開催のお知らせ

#### ●第4回

「介護福祉のみらい」

作文コンクールのご案内

4

入選作品掲載

第3回

「介護福祉のみらい」

作文コンクール

5

●合格者の声

6

●今月の「介護ビジョン」

●INFORMATION

7

イベント掲示板

8

介護福祉経営士活動レポート Vol.28

# 地域の介護を支える 基盤の強化に向けて

—東京都豊島区 中小介護事業者で  
つくる「事業協同組合」—



一般社団法人

日本介護福祉経営人材  
教育協会

お問い合わせ先

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会 事務局

☎ 03-3256-0571 <http://www.nkfk.jp>

制作:株式会社日本医療企画

編集・発行人:林 諄

〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町17番地  
ニッテン神田ビル3階

介護業界では組織的・経営的な課題に頭を悩ませる中小規模の事業者が多い。

東京都豊島区ではこれらの課題を包括的に解決すること目的とした「事業協同組合」の設立を、行政が支援する試みが始まっている。

その一環として介護経営者を対象に行われた、事業協同組合の設立を目指す勉強会「豊島区介護事業経営カレッジ」の様子をレポートする。

## 地域の介護を支える 基盤の強化に向けて

—— 東京都豊島区 中小介護事業者でつくる「事業協同組合」 ——

### 課題解決の糸口として

中小規模の介護事業者が抱える課題は、「効果的な職員採用活動ができない」「職員が少ないため、研修の実施が困難」「利用者確保のPRができない」など多岐にわたる。

継続的に質の良いサービスを提供するために、各事業者は、現状を改善するための独自の施策を模索し、実施しているものの、自組織だけでは解決できない課題も少なくない。

現在、設立準備が進められている「事業協同組合」には、各事業者が抱える課題を合併や経営統合に頼らずに解決する役割が期待されている。各社が独立した経

営を続けながらも、規模拡大による経営効率化の恩恵を得られる点が大きなメリットだ。

### 豊島区介護事業経営カレッジとは

「豊島区介護事業経営カレッジ」は平成30年度より豊島区が取り組む「中小介護事業者の事業協同化支援」事業の一環で行われた勉強会である。

2018年11月より全5回の日程で行われ、事業協同組合への参加意欲や参加への関心がある経営者が参加した。勉強会では講演やグループワークを通して経営者同士の信頼関係を構築しながら、組合設立の目的の明確化、共有化を行ってきた。

### 【日時とテーマ】

| 日時          | テーマ                             | 講師                             |
|-------------|---------------------------------|--------------------------------|
| 平成30年11月28日 | 「豊島区の介護事業経営」および「事業者自身」の強みと弱みを知る | 青木 正人氏<br>(株式会社ウエルビー代表取締役)     |
| 平成30年12月19日 | 事業協同組合の活用方法(1)                  | 馬場 博氏<br>(横浜みなと介護福祉事業協同組合事務局長) |
| 平成31年1月23日  | これからの介護人材の確保・育成のあり方             | 貝塚 誠一郎氏<br>(貝塚ケアサービス研究所所長)     |
| 平成31年2月22日  | これからの医療との連携のあり方                 | 吉澤 明孝氏<br>(要町病院副院長)            |
| 平成31年3月27日  | 事業協同組合の活用方法(2)                  | 村上 義孝氏<br>(茨城県福祉介護事業協同組合理事長)   |



## 当事者ならではの意見が ぶつかり合う議論の場

同カレッジはグループディスカッションに重きを置いている点の特徴で、参加者が身近に感じている課題を元に議論を重ねることで、さまざまな側面から協同組合の設立のメリットを探る場となった。

全5回にわたる議論の場のなかでは、自組織の強みと弱みの分析や、事業協同組合で行いたい事業活動のアイデア出しとそれを踏まえた事業計画案の作成、事業協同組合を利用しての人材採用・育成のメリットの模索などがテーマとして取り上げられた。

## 事業者のみでなく地域全体で 介護を支える基盤を創る

最終回となる第5回では、「事業協同組合の活用方法」と題し、茨城県福祉介護事業協同組合理事長の村上義孝氏を講師に迎え、実際の事業協同組合での活動事例などを取り上げた講義が行われた。

グループワークでは実際の事業計画プランを想定し、「現状・課題」と「目的」、「内容」などについて意見を出し

合った。その結果、初任者研修をはじめとする各種人材研修を合同で行う案や、人事交流を活発化させることにより、仕事上のチェックや担当者が業務を行えなくなった場合のフォロー体制の構築を期待する案などが提示された。

とりわけフォロー体制の構築については強く期待されている印象を受けた。これは現状の業務フローや組織体制に不安を感じている事業者が多いことの裏返しとも言える。

今後、これらの課題が事業協同組合によってどのように解消されていくのかはまだ未知数ではあるが、このように地域全体で介護を考える場を積み重ねることは、今後の地域の介護サービスの基盤の強化の重要な手段の1つになっていくのではないだろうか。



参加者同士のグループディスカッション(3月27日)。当事者同士ならではの現実を見据えた議論が展開された

### Message

### 私が見た「豊島区介護事業経営カレッジ」

3月27日に行われた豊島区介護事業経営カレッジ(第5回)の様子を介護福祉経営士が見学しました。介護福祉経営士の目線で見ると、勉強会の様子はどのように映ったのでしょうか。

#### 地域における切れ目のない 介護サービスのために

勉強会最終回のテーマは「事業協同組合の活用方法」。行政が募集する助成事業の目的に沿った活動に対して、補助金が支給される仕組みについて解説があった。参加者によるグループワークでは、組合をつくる目的、意義、それによって得られるメリットなどが話し合われた。

意外にも、1人ケアマネ、つまり居宅介護支援事業所を1人で運営するケアマネジャーの参加者が多かった。もし自分が入院したら、ケガなどで業務が遂行できなくなったら…。レセプト業務がストップし給付が行われなくなるという事態により、利用者および連携先の事業所に迷惑がおよぶことが、彼らにとって一番の心配事なのである。組合のメリットとして真っ先に思い浮かぶ共同購入や人材募集・教育ということも大事なことであるが、事業継続におけるリスクを回避するということが参加の動機として挙げられたことには注目しなければならない。現場の切実な実態を垣間見ることができるからだ。

経営基盤の弱い中小事業者にとって、組合設立はサービス

の質を上げ、幅を広げるチャンスである。一方で、組合を通じて、同じ地域で介護事業を営む経営者同士が議論の場を持つこと、それ自体が有益なことと言える。それぞれの事業者が組合に求める機能を検討することによって、自社の強みや弱み、小規模事業者としての存在の意義や魅力を改めて確認することができるからだ。

一事業者では足りないところを補完しあうことのできる事業協同組合は、地域のなかで切れ目のない介護サービスを実践する上で有効である。それは、まちづくりそのものである。すなわち、国や自治体が求めている以上に、生活者が求めていることである。



株式会社 リライズ  
代表取締役

加藤 桂示氏  
介護福祉経営士2級  
医療経営士3級

# 開催決定

## 第4回

# 全国介護福祉総合フェスティバル in さいたま

### 日時

2019年  
9月6日(金)・7日(土)

### 会場

埼玉会館

(埼玉県さいたま市浦和区高砂3-1-4)



全国介護福祉総合フェスティバルは、「介護福祉経営士」による問題提起、発信を行うと同時に、幅広い世代、立場の人々が地域の介護福祉のあり方について考え、未来への夢をふくらませる場として、毎年開催されています。

詳細や過去の開催の様子は  
協会ホームページ  
(<http://www.nkfk.jp/kaigofes2019/>)  
からご確認ください▶▶▶



私たちだから伝えられることがある——

## 第4回「介護福祉のみらい」作文コンクール 作品募集開始

一人ひとりの想いが、介護福祉の新たな未来を創ります。これからの社会を担うみなさんの声を届けてください。

### 【応募要項】

|        |   |  |
|--------|---|--|
| 【趣 旨】  | 将来を担う中学生、高校生が介護や福祉の大切さを知り、未来について考え発表する機会とします。   |  |
| 【募集期間】 | 2019年4月1日(月)～6月28日(金) ※郵送の場合は必着   |  |
| 【応募資格】 | 中学生、高校生の方   |  |
| 【テーマ】  | 以下のテーマ(課題)の中から好きなもの一つを選んで、あなたが感じることを、考えることを自由に書いてください。  |  |
|        | ■中学生の部/<br>高校生の部  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●介護や福祉に関する実体験等を通して感じたこと、考えたこと</li> <li>●自分の老後を想像して考えたこと</li> <li>●これからの介護や福祉に関する私の意見</li> </ul> |
| 【応募方法】 | ・1,200字以内(原稿用紙、ワープロ原稿、縦書き、横書き、いずれも可。書式自由)<br>※応募に関しては、ホームページ( <a href="http://www.nkfk.jp/sakubun2019">http://www.nkfk.jp/sakubun2019</a> )に詳細が掲載されています。必要事項等をご確認のうえ応募ください。<br>学校単位での応募はホームページをご確認ください。 |  |
| 【表彰】   | <b>最優秀賞／優秀賞、他</b> [賞状・副賞]<br>それぞれ「中学生の部」「高校生の部」を表彰。いずれも若干名とする。<br>受賞者には所属する学校において賞状・副賞の授与を行います。   |  |

### お問い合わせ・お送り先

一般社団法人 日本介護福祉経営人材教育協会  
『介護福祉のみらい』作文コンクール事務局

〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町17番地 ニッテン神田ビル3階  
TEL.03-3256-0571 (平日のみ 10:00～12:00、14:00～17:00)  
メールアドレス: kaigo\_sakubun2019@nkfk.jp





vol.6

## 入選作品掲載

# 第3回「介護福祉の未来」作文コンクール

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会が実施した第3回「介護福祉の未来」作文コンクール。全国から寄せられた420編より選出した入選作品を紹介する。

### 最優秀賞

## 「福祉の在り方と福祉の意義」

岡田 葉奈さん

(山形県立山辺高等学校 福祉科2年〈受賞時〉)

福祉のイメージを家族に聞いてみた。皆はだいたい老人の世話をするという内容だった。全然違うと思いながら、本当の福祉の意味を完全に理解しているわけでもなかった。二度の介護実習をとおして、私なりの「福祉」のイメージについて考えることができた。

最初の実習。何も分からず緊張していた私たちを、利用者の方や職員の方は、温かく受け入れてくださった。この実習は、正直言うと悔しさと楽しさが半々だった。それと同時に、将来目指している職業に一步步近づいている思いが芽生え嬉しく楽しかった。利用者の方に「ありがとう」と言っていたら、素直に嬉しかった。しかしその反面、何もできない自分が悔しかった。もちろん学習していないことをしたかったわけではなく、振り返ると「あの時、こういう対応ができたのではないか」と思うことがいくつもある。そう想いをめぐらせる事が実習の面白さであり、醍醐味であるのではないかと感じた。この時考えた福祉の仕事の意味は、「相手に喜んでいただけるように、相手のことを考える」というものだった。

二度目の実習。実習期間も長くなり、私は楽しみという気持ちが大きかった。そこは、認知症を患っている方が入所することができる事業所だ。私の周りには、認知症を患っている方はいない。そのため、関わり方を学ぶよい機会だと思った。認知症介護で、介護士に最も求められる技術は、コミュニケーション力だ。私がまだまだ苦手だと感じている分野だ。初めは、沈黙になることを恐れ、沈黙にならないよう必死だった。しかし、ちょっとした沈黙のあと、利用者の方が、自身のことを話してくださり、その時の満足な表情と笑顔を見たとき、沈黙も大切な空間であることに気づいた。沈黙は、利用者の方が考える時間でもあったのだ。そして、私にご自分の話をしてくださったことが幸せだと感じた。それを見ていた職員の方から、「今の対応は間違っていないよ。とっても良かった」と言ってもらい、私の自信に繋がった。その出来事から、コミュニケーションをすることが楽しくなった。最終日には、コミュニケーションが上達したと評価していただいた。将来の自分に一步步近づいた気がした。この実習で抱いた福祉

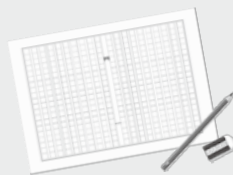
の仕事の意味は、「幸せを提供し幸せを相手からいただく」すなわち、福祉とは「幸せの循環」であると変化したのだ。

福祉の仕事は、対象者の年齢が幅広い。また分野もそれぞれに分かれており、例えば同じ介護福祉士でも、その分野に特化した技術や知識が求められる。しかし、私が抱いたように、年齢や分野は違っても、根本になる「福祉の仕事の意味」は、同じではないだろうか。それは、福祉の仕事が、人の生活や人生に携わり、共に歩む仕事だからだと思う。福祉を学ぶのは、残り一年半。一つでも多くの「幸せの循環」を感じられるよう、誠意を持って学びを深めていきたい。

### 受賞者コメント

この度は、このような素晴らしい賞をいただき誠にありがとうございます。

この作品は、これまでの実習を通して感じたことを、たくさんの人にも知っていただき、福祉の仕事は身近にあることや、その仕事の魅力に触れていただきたいという気持ちを込めました。この作品を書くことができたのは、実習でお世話になった利用者の方と、ご指導いただいた職員のみなさんと出逢うことができたからです。心から感謝しています。



最優秀賞を受賞した  
岡田葉奈さん

## 介護福祉業界に精通した 公認会計士として品質向上を目指す

古川 裕樹人 ●ふるかわ・ゆきと

EXIA公認会計士共同事務所 代表公認会計士・税理士  
介護福祉経営士2級(1級試験合格)



### 中小企業や社会福祉法人等を 支援するべく独立

以前は大手監査法人にて10年間、上場企業を中心に会計監査・内部統制構築、M&A、事業再生に携わってまいりました。その経験を活かし、中小企業や社会福祉法人等特殊法人を支援して本当に喜ばれる財務コンサルティングを行うべく、公認会計士・税理士事務所として独立しました。

私の事業再生・経営コンサルティング方針は、人員・給料カットに手を付けず、非効率項目の整理等による利益向上です。コンサルティングで通常接する方は役員を含む経営管理者ですが、結果として従業員・ワーカーの方々からお礼を言われた際には非常にやりがいを感じています。

### 経験と「介護福祉経営士」で得た知識で 公正で公平なM&Aを実現したい

現在、当事務所には介護福祉業界からの会計監査、内部統制構築、税務などの依頼が増加しています。そこで、介護福祉業界の経営者と対等な目線で対話をするために必要な知識を習得しようと「介護福祉経営士」を受験しました。

試験については学習範囲が非常に広く、一見すると膨大な学習量ですが、それぞれの分野には共通する項目があります。その共通項目からそれぞれの分野へ派生していると意識しながら学習項目をマッピングし学習しました。

学習を通して、「介護福祉経営士」は、介護福祉業界について総合的に学習することができ、単純な会計・監査サービスを超越、より高いレベルのクライアントニーズを満たすことができる資格であると感じました。今後は学習した内容を活かしてクライアントが何を求めているのかを戦略的に分析した上で事業価値向上の提案をしていきたいと思っております。

近年、介護福祉業界においても事業譲渡や買収といった組織の再編が行われるようになりました。しかし、介護福祉といった制度事業に対する事業価値算定を理論的に正しく算定できる専門家は非常に限られています。制度事業はその特殊性を考慮し、通常の事業会社とは異なる複雑なファイナンス理論を用いる必要がありますが、多くの会計事務所等が通常の事業会社と同様の算定方法を用いているため、買い手または売り手のいずれかに不公平な状態でM&Aが行われていることが多々見受けられます。これについては素人目にはその正確性は判断できません。私は、実務に加え、「介護福祉経営士」試験や現在取得中のMBAにて得た経営・ファイナンスの知識から、介護福祉業界においても公正で公平なM&Aを実現すべきであると考えています。

### 介護福祉業界の財務の適正化に 事務所全体で寄与することを目指す

今後は「介護福祉経営士」として、先述の介護福祉業界における不公平な対価で行われているM&Aの是正や社会福祉法人について段階的に義務化されている公認会計士による会計監査の効率化に貢献していきます。会計監査は公認会計士であれば誰でも業務できますが、より効率的でクライアントにとって有用な情報提供を可能にするのは、介護福祉業界に精通した公認会計士となるでしょう。

当事務所に勤務する公認会計士も「介護福祉経営士」資格取得に意欲的です。今後はより、介護福祉業界に特化した会計監査サービス、税務サービスを推進し、事務所全体で介護福祉業界の財務の適正化に寄与していきたいと考えています。

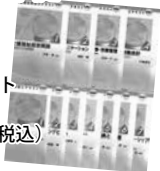
## 介護福祉経営士テキストのご案内

介護福祉経営士テキストシリーズは、  
「介護福祉経営士」の試験科目に対応しています。

介護福祉  
経営士テキスト  
のご案内

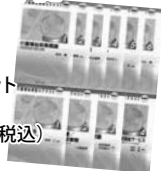
介護福祉経営士  
1級試験 準拠

実践編  
全11巻セット  
特別価格：  
25,710円(税込)



介護福祉経営士  
2級試験 準拠

基礎編  
全10巻セット  
特別価格：  
23,660円(税込)



いま  
なら

「介護福祉経営士2級資格認定試験対策  
— 合格サポートブック —」がもらえる!!

「合格サポート  
ブック」とは

- 「介護福祉経営士テキスト」基礎編(10巻)各巻の重要ポイントの解説を掲載
- 予想問題を掲載
- 第1回「介護福祉経営士2級」資格認定試験で実際に出題された問題を一部掲載。

※解説は(株)日本医療企画によるものです。

※株式会社日本医療企画へ直接お申し込みされた場合の価格となります。

テキストのお申し込み、お問い合わせは株式会社日本医療企画ホームページへ  
▶<http://www.jmp.co.jp/>



## 地域特集

### 急増するニーズにどう応えるか？ 独居高齢者を支える 地域の挑戦

## クロストーク

### 細田善彦×佐々木淳 多職種連携が生み出す可能性とは？

## トップに聞く

### 医療法人・社会福祉法人 愛正会 理事長 横倉 稔明 氏

法人設立以来の“地域社会のためにチャレンジする精神”を受け継ぎ、医療・福祉の手が届きにくい過疎地やへき地で訪問サービスを続けてきた医療法人・社会福祉法人愛正会の横倉稔明理事長。包括的な地域支援のあり方を模索し続ける同氏に地域を支える難しさと今後の展望について聞いた。

インタビュアーとして今川良枝氏が介護福祉経営士の観点からレポートする。



【インタビュアー】  
今川良枝氏  
介護福祉経営士2級



横倉稔明氏

介護が変わる 地域が変わる **介護ビジョン**

## 地域介護経営

急増するニーズにどう応えるか？  
独居高齢者を支える  
地域の挑戦

細田善彦×佐々木淳  
多職種連携が  
生み出す可能性とは？

日本介護支援財団  
「介護助手事業」  
介護福祉経営士2級  
今川良枝

横倉稔明  
愛正会理事長

2019年5月号  
(2019年4月20日発売)

詳しくは

- 毎月20日発行
- 定価：1,296円(税込)
- 定期購読料：15,552円(税込)
- ※会員価格は12,444円(税込)

# INFORMATION

理事会、支部、事務局からのお知らせをお伝えします

## 「介護福祉経営士」資格認定試験 全国200会場で、受きたい日時に受験が可能 その場で合否が判定されます！

「介護福祉経営士」資格認定試験は、CBT方式で実施しています。

試験会場は全国約200会場から選ぶことができ、自分の予定に合った日程、時間に受験することができるようになりました。これにより、より多くの方々に受験機会が広がり、介護福祉業界のマネジメント人材として活躍していただけるよう、受験しやすく役に立つ教育システムとして進化しています。

受験方法や受験申込については、本会ホームページ(<http://www.nkfk.jp/>)にてご確認下さい。

### CBT方式とは……

CBTとはComputer Based Testingの略称で、問題用紙やマークシートなどの紙を使わず、パソコンで受験する方式のテストです。特定の受験日に一斉実施する紙ベースの試験とは異なり、全国の会場にて随時(毎日\*)受験が可能となります。受験者は、会場と日程をWeb上で予約し、当日は会場のパソコンで受験します。

※年末年始を除く。試験会場によって異なります。

介護福祉経営士に必要な知識や情報が得られるイベントを、支部の研究会を中心に紹介。スキルを磨き、経営士同士が切磋琢磨できる場として人気の研究会も多いので、ぜひ参加しよう。

### 東北支部

#### ともに学び、ともに考え、ともに成長する“石井ゼミ”in東北 採用される企画提案を立てよう！

全国で開催中の“石井ゼミ”。今回は、『採用される企画提案を立てよう』をテーマに「新規事業企画や業務改善提案書の作成」から「上長や他部門に向けたプレゼンテーション(模擬プレゼン・発表)」まで、より実践的な内容を予定。

- 日時:2019年5月11日(土)、7月13日(土)、9月7日(土) 14:00~17:00(各回共通)  
※終了後懇親会を予定(費用別途4,000円程度)
- 講師:石井ふみ氏(多摩大学医療・介護ソリューション研究所副所長)
- 会場:PARM-CITY131貸会議室(宮城県仙台市青葉区一番町3-1-16)
- 受講料:協会会員(全3回)12,000円、(各回)5,000円  
一般(全3回)27,000円、(各回)10,000円 ※税込
- 定員:30名 ※定員になり次第、締め切り
- 共催:株式会社日本医療企画、日本介護福祉経営人材教育協会東北支部、日本医療経営実践協会東北支部、日本栄養経営実践協会東北支部

お問い合わせ 株式会社日本医療企画 東北支社  
TEL:022-281-8536

### 日本医療企画

#### 患者視点で考える医療介護経営

患者視点に立った3者の講演のほか、パネルディスカッションを通じて王道の医療経営について考える。

- 日時:2019年5月12日(日) 13:00~16:00
- 内容:  
第1講:3者によるスライドを使わない講演  
講演1「医療介護トピック」  
長英一郎氏(東日本税理士法人代表社員)  
講演2「aging in place(地域で暮らし続ける)を実現するために」  
宇都宮宏子氏(在宅ケア移行支援研究所宇都宮宏子オフィス所長)  
講演3「イマドキの診療所事情~事務長奮闘記~」  
松村真吾氏(株式会社メディサイト代表取締役)
- 第2講:3者によるパネルディスカッション・質疑応答
- 会場:大阪府看護協会 ナーシングアート大阪  
(大阪府大阪市城東区鳴野西2丁目5-25)
- 参加費:一般8,000円、医療経営実践協会会員5,000円、看護師3,000円
- 後援:大阪府看護協会、日本医療経営実践協会

お問い合わせ 株式会社日本医療企画 関西支社  
TEL:06-7660-1761

### 日本医療企画

#### 「医師の働き方改革をみんなで考える」セミナー ~医師の働き方改革に関する検討会の内容を踏まえて~

「働き方改革実現会議」のメンバー中唯一の民間病院である社会医療法人ベガサス馬場記念病院長の馬場武彦理事長が、「医師の働き方改革に関する検討会」の全容を語る。

- 日時:2019年5月23日(木) 13:30~17:00
- 内容:  
第1部:「医師の働き方改革に関する検討会」を通して見てきた問題点  
~医療現場における働き方改革について~  
馬場武彦氏(社会医療法人ベガサス馬場記念病院理事長、  
一般社団法人日本医療法人協会副会長)
- 第2部:働き方改革における病院での人事・労務の具体的対応  
浅見浩氏(浅見社会保険労務士法人代表)
- 第3部:パネル検討会
- 会場:東邦薬品株式会社 丸の内オフィス13階会議室  
(東京都千代田区丸の内1-9-2 グラントウキョウサウスタワー)
- 参加費:8,000円 ※税込
- 定員:50名
- 共催:東邦ホールディングス株式会社
- 後援:一般社団法人日本医療法人協会

お問い合わせ 日本医療企画 セミナー事務局  
TEL:03-3256-2885

### 日本医療企画

#### 医療×経営×未来 ハイブリッドセミナー 介護医療院で完成する 多機能慢性期病棟の戦略

医療の将来を見据え、先駆的な挑戦をしている医療機関経営者を講師に迎えて、自院・自組織の取り組みや将来ビジョンに耳を傾ける。今回は、医療法人社団三喜会鶴巻温泉病院理事長・院長の鈴木龍太氏が、これからの慢性期医療と介護医療院の将来像について語る。

- 日時:2019年5月31日(金) 14:00~16:00
- 講師:鈴木龍太氏(医療法人社団三喜会鶴巻温泉病院理事長・院長)
- 会場:ニッテン神田ビルセミナールーム  
(東京都千代田区神田東松下町17番地 ニッテン神田ビル3階)
- 参加費:一般10,000円  
医療経営士・医療機関勤務者7,000円  
『月刊医療経営士』定期購読者5,000円 ※税込
- 定員:60名(定員になり次第、締め切り)

お問い合わせ 株式会社日本医療企画  
TEL:03-3256-2885



### 日本医療企画

#### 中小介護事業所の経営者・リーダー必見!! 介護事業の生産性向上セミナー in 東北

人材確保が困難をきわめるなか、今後急拡大する介護ニーズに対応していくために、介護事業者には生産性向上に向けた取り組みが求められている。こうしたなかで「民介協」が取りまとめた『地域密着型サービスの生産性をいかに高めるか—小規模多機能型住宅介護と定期巡回・随時対応型訪問介護看護の生産性向上マニュアル—』をテキストに、介護事業所の生産性向上を進めるポイントを学ぶ。

- 日時:2019年6月29日(土) 13:30~16:30
- 講師:馬袋秀男氏  
(一般社団法人「民間事業者の質を高める」全国介護事業者協議会顧問)
- 会場:仙都会館7FD(宮城県仙台市青葉区中央2-2-10)
- 参加費:協会会員4,000円、一般6,000円
- 定員:48名 ※定員になり次第、締め切り
- 共催:一般社団法人「民間事業者の質を高める」全国介護事業者協議会
- 後援:一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会

お問い合わせ 株式会社日本医療企画 東北支社  
TEL:022-281-8536

### 日本医療企画

#### 看護師のための 口腔の評価とケアセミナー in 東京

医療・介護の領域において、口から食べることの意義が多くの専門職に周知されつつある。本セミナーでは、口腔アセスメントと口腔ケアの基礎から実践まで、実技を取り入れながら習得する。

- 日時:2019年7月27日(土) 12:30~16:30
- 内容:  
講義1:今求められるオーラルマネジメントとは  
松尾浩一郎氏(藤田医科大学医学部歯科・口腔外科学講座主任教授)
- 講義2:現場で使える口腔ケアの手法と実践  
三鬼達人氏(藤田医科大学病院看護長、摂食・嚥下障害看護認定看護師)
- 会場:ニッテン神田ビルセミナールーム  
(東京都千代田区神田東松下町17番地 ニッテン神田ビル3階)  
※会場は変更になる場合がございます。
- 参加費:3,000円 ※税込
- 定員:100名(定員になり次第、締め切り)
- 協賛:アサヒグループ食品株式会社

お問い合わせ 株式会社日本医療企画  
TEL:03-3256-2885